

<主催事業活動報告 抜粋>

天王洲チャンネルフェス 2022 春

・開催日：2022年4月22～24日(3日間) ・総来場者数：3日間累計 17,000人

天王洲チャンネルフェス 2022 夏

・開催日：2022年7月22～24日(3日間) ・総来場者数：3日間累計 20,500人

天王洲チャンネルフェス 2022 秋冬フェス

・開催日：2022年11月11～13日(3日間) ・総来場者数：3日間累計 18,000人

チャンネルアートモーメント品川

・開催日：2022年11月12日 ・来場者数：4,200人

水辺の勉強会

・開催日：2022年2月24日 4月22日 5月27日 9月9日 11月11日 12月22日
(隔月開催計6回実施)

分科会開催

観光分科会(月2回隔週開催)年間2回はDMO委員会として開催(6月、12月)

DMO申請状況進捗報告、各社観光事業情報共有、観光DX開発、観光ツアー醸成企画

<観光 KPI 達成状況>

項目 【単位】	2020(R2)年度		2021(R3)年度		2022(R4)年度		2023(R5)年度		2024(R6)年度		2025(R7)年度	
	目標	実績										
必須KPI												
①-1 旅行消費額 (総額) 【千円】	全体	4,000,000	2,358,300	3,000,000	3,357,000	4,000,000	4,553,200	4,650,000		4,700,000		4,730,000
	インバウンド	400,000	265,675	300,000	318,355	400,000	520,236	450,000		500,000		530,000
①-2 旅行消費額 (一人当たり単価) 【円】	全体	6,000	4,384	6,000	5,640	6,000	5,548	6,000		6,000		6,000
	インバウンド	4,000	3,639	4,000	4,811	4,000	4,068	4,200		4,200		5,200
直近のKPI達成状況に対する分析 コロナウィルスの影響が薄れ回復傾向にある。インバウンド比率も上昇傾向にある。												
②延べ宿泊者数 【千人泊】	全体	140	47	60	77	100	143	150		170		170
	インバウンド	2	5	3	14	3	10	5		7		8
直近のKPI達成状況に対する分析 コロナウィルスの影響が薄れ回復傾向にある。インバウンド比率も上昇傾向にある。												
③来訪者満足度 【%】	全体	90%	90%	90%	90%	90%	90%	92%		92%		92%
	インバウンド	92%	92%	92%	90%	92%	91%	93%		93%		93%
直近のKPI達成状況に対する分析 高い満足度で安定している												
④リピーター率 【%】	全体	60%	65%	60%	63%	60%	54%	55%		55%		55%
	インバウンド	10%	10%	10%	9%	10%	10%	10%		10%		11%
直近のKPI達成状況に対する分析 全体的に利用者数が伸びていることもあり、リピーター率はやや減少傾向にある。												
その他の目標												
Webサイトの アクセス状況 【回】	全体	20,000	10,865	15,000	22,678	25,000	31,761	33,000		35,000		38,000
	インバウンド	200	10	150	235	250	406	400		420		450
直近のKPI達成状況に対する分析 コロナウィルスの影響が薄れ回復傾向にある。インバウンド比率も上昇傾向にある。												

【調査方法】DMO委員会参加企業中心に聞き取り調査を実施集計

<分析結果>

2020年のコロナウィルスまん延における様々な影響から少しずつ状況の改善、反動の兆しがみられる。自主開催イベントやその他各社の観光事業における動員数も2021年度を上回る実績を残すことが出来た。インバウンドの来訪も少しずつ増加傾向となっており、2023年においては本格的な観光需要の復活が期待できる。宿泊数も2021度から大幅に回復傾向にある。現状国内需要の回復がより顕著となっているが、今後のインバウンド需要の取り込みとそれに連動する形での滞在時間延長と消費の拡大に向けて、主催事業（天王洲アートツアー）を計画し、2024年から販売開始を目指す。

<天王洲観光における2023年活動計画>

天王洲・チャンネルサイド活性化協会はさらなる観光地としての天王洲の発展へ向けて、下記観光施策の実施を進めていくものとする。

① 旅行業の申請

第3種旅行業の登録申請。今後の様々な自主観光メニュー醸成に向けて、今年度中の登録を目指す。

② DMOの申請

地元自治体（品川区）の推薦、共同申請。周辺関連団体との合意形成を経て、年度内（2024年3月）の申請と地域DMO登録を目指す。

③ 自主観光ツアーの企画

国内外に「アートのまち、天王洲アイル」の発信と域内に点在する屋外アートを楽しみながら水辺空間を散策する企画として「天王洲アートツアー」の実証を天王洲チャンネルフェスのコンテンツとして実施してきた。今年度もチャンネルフェスのコンテンツとして音声ガイドの多言語化導入、周遊モビリティの選定などツアーに必要なツールの整備を進めていく。また募集方法や情報掲載など集客施策についても計画を進める。また初期導入コストの資金確保に向けて観光庁等の助成制度への申請にも着手する。

なお、本件は観光分科会で計画を遂行するものとし、分科会メンバー（パナソニックグループ、JTB、日本航空、寺田倉庫 ※敬称略、順不同）を中心に進める。

2024年度のツアー造成、販売に向けて計画を進める。

④ 観光DXの推進

域内の観光案内機能として、パナソニック「アテンドステーション」の実証と導入を天王洲チャンネルフェスで行ってきたが、2024年度の設置導入に向けて、更に実証を継続し、カスタマイズ化を進める。

導入することで、天王洲アイル駅や商業施設利用者に対し、日・英・中の多言語対応での域内施設情報やアートツアーの集客機能として、地域の観光消費の拡大と効率的な案内所機能の運営を目指す。

2022年度も各種データ類のご提供やアドバイスなど多大なるご協力を賜り御礼申し上げます。

引き続き2023年度も弊協会の活動にご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

以上